

# 生き生きした街づくり



## 子安地域住民協議会広報紙

発行

子安地域住民協議会広報部

(公財) 八王子市学園都市文化ふれあい財団

八王子市子安市民センター

八王子市子安町2-6-1

電話 042 (646) 1220

### 令和六年度の抱負

子安地域住民協議会

会長 奥野 総一



昨年の令和五年は、紛争・インフレ・気候変動と続き、令和六年も国内や世界で昨年と同様に混沌とし、先行きに不安をもたらしています。

人類の歴史を眺めると、七百万年前に直立二足歩行、五万年前考える人へ、五千年前に文字が始まる。何と人類は宇宙、地球の歴史から見れば僅かである。恐竜の一億五千万年に比べ、人類は次の二十二世紀を越えられるのか！戦争や争い事を行っている場合ではない。

私たち住民協議会は、子安市民センターを活動拠点として、閉塞感を拭い、地域の皆様と様々な取り組みを企画して、地域コミュニティの活性化に貢献したいと考えています。

しかしながら、高齢化の進む中、地域活動にご協力いただける方々が年々減少しており、人手不足が常態化しているのが現状です。そこで地域活動にご協力いただける子安地域サポーターを募集し、活動の人員増強を図り、活力ある運営を推進したいと存じます。

### トピックス

- 【市民センターの草刈りを実施】 二頁
- 〈新企画〉
- 【子安町歴史探訪―子安神社】 三頁
- 【文化部からの展示のお願い】 四頁
- 【ぶらり散歩】 四頁
- 【編集後記】 四頁

さて、令和六年度定期総会を五月十八日に開催。来賓にはコミュニティ振興課の市川課長を招き開かれました。令和六年度提出された議案は原案の通り承認され、総会を終了致しました。

そして、今年も市民センターまつり開催には地元の保育園、いずみの森義務教育学校、芸能出演団体、作品出展団体等の打ち合わせにより計画を立て推進して参ります。また夜には各町会から集まる、民謡踊りを実施し、実効性のある大会にしたいと存じます。

自主事業では将棋体験会及び将棋トーナメント戦を秋と冬に予定しております。

最後に、本年は住民協を構成する委員同士の繋がりを強めることを重視し、委員会や研修旅行、新年会、また、その他事業を推し進めたいと思っています。それにより事業展開を発展させたいと存じます。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

# 6月16日(日)市民センター周辺の草刈りを実施





## 子安町歴史探訪

「子安町と明神町と子安神社」

八王子市民であれば「子安」と聞けば子安町や子安神社を思い浮かべる人も多いと思います。

子安神社は天保宝字三年（七五九年）に創建された、一二六〇年以上の歴史を持つ八王子最古の神社です。

しかし、子安神社は京王八王子駅前、つまり明神町にあります。なぜ子安神社が子安町ではなく明神町にあるのか疑問に思う人もいるのではないのでしょうか？

実はこれには子安町の成り立ちが関係しています。

子安町は元々、今よりもずっと大きな「南多摩郡子安村」でした。明治七年（一八七四年）に大区小区制が施行され、子安村には現在の子安町、明神町、旭町、万町、東町、新町、寺町、小門町、大横町が含まれていました。

明治十五年（一八八二年）には町村分合により、子安村は旧八王子十五宿と合併し「八王子元子安町」となります。

その後、明治二十二年（一八八九年）の町村施行で八王子町が成立したことで「南多摩郡八王子町元子安町」となり、大正元年に町名変更で元子安町の一部が現在の子安町になりました。その時に子安神社のある地区は明神町になりましたが、これは要するに、子安神社はもともと子安町にあったということなんです。

子安神社は鎮守子安明神として創建されました。「子安明神」の名前からおわかりの通り、子安町と明神町の名前はこの子安明神に由来すると言われています。いわば名前分のけのようなものだったわけですね。

現在は中央線が子安町と明神町を分けていますが、中央線（当時は前身である甲武鉄道）が開通する明治二十二年（一八八九年）

以前は今よりもはるかに行き来が楽だったことでしょう。

かつては子安神社の周り一帯がひとつの村だった子安の大地。その頃の人たちは何を思いつながら子安の地を歩いていたのだろうか？そんなことを考えながら子安町の、そして八王子の歴史を振り返るのも面白いかもしれませんね。



子安神社

文化部からの展示のお願い

副会長 高松和幸（文化部担当）

センターまつりの時期がやってきました。

センターまつりでは、みなさまの生活様式や価値観、伝統、習慣、芸術などさまざまな要素の総体としての展示を行います。人々が生まれ育ち、地域社会の中で育んできた、多様性に富んだ作品の展示が出来ましたら望外の喜びです。

それは時代とともに変化するものでもあり、展示という場を通じて、相互理解につながる豊かさをモットーに開催したいと考えています。多くの出展と交流が生まれることを願って、個人と社会のつなぐ重要な絆づくりを願っています。



昨年の出展より

ぶらり散歩

今年の七月は、気象庁予報で猛暑になるとの発表がありました。七月五日の午後十五時頃でしたか、JR八王子駅南口の電光掲示板の温度計が四十一℃を示していました。ちなみに二十二時頃、車内からチラッと見ただけ定かではありませんが、三十五℃だったかな？

水分と塩分と睡眠を過不足なく取りましょう。救急車の出勤回数を減らしましょう。

紫陽花の色も輝く季節かな (国)



【編集後記】 広報部より

▼歴史を紐解くと、それまで見えてなかったものが見えて来てなかなか楽しい。

子供の頃は歴史が嫌いだったので、興味を持って臨むと、ここまで変わるんだなと感じた次第。(西島)

▼昭和三十四年頃は国鉄初乗運賃と駅入場券は十円で、旭町から第三中学校へ通学するのに、駅の通過はとでもできませんでした。今は便利になりました。(井上)

▼何年ぶりだろう、小学校の作文の宿題以来だろうか、誤字脱字に注意しながらどういふふうに表示したらいいか、なかなか筆が進みませんでした。(溝口)

▼企画打ち合わせ、原稿づくり。広報部の皆様と新企画も立ち上げ、楽しい紙面を、皆様に読んでいただけることを願いつつ。(田島)